



4K・8K放送

テレビでこれまでより美しく、はっきりした映像を見られる「4K・8K放送」がスタート。NHKや民間放送局の衛星放送で、ドラマや映画、自然の風景、コンサートなどが4Kや8Kのテレビ番組として放映されます。

テレビの画面には「画素」という、とても小さな点が並び、色や形をあらわしています。画素の数



4K・8K放送をPRする女優の深田恭子さん
東京都千代田区

が多いほど、あざやかな色で、きめ細かい映像になります。今は画素の数が一番多い放送で約200万個ですが、4K放送では4倍の約800万個、8K放送では16倍以上の約3300万個になります。

Kは千という意味で、4K放送ではテレビ画面の横方向に並ぶ画素が約4千個、8Kは約8千個あります。

4K・8K放送を見るには、そのためのテレビや機器が必要です。家電メーカーは、東京オリンピックに向け、4K・8K用テレビが売れるのを期待しています。

ただ、今のテレビでも、これまで通りの放送が見られるので、人気が出るかどうかは、はっきりしません。

(C)神戸新聞社 無断転載 複製および頒布は禁止します。

① 12月1日から日本で4K・8K放送が始まりました。これらの番組を見ることができる放送に○をつけましょう。

()地上デジタル放送 ()衛星放送

② 4K・8Kテレビの画素数を書きましょう。

4K 約()画素

8K 約()画素

なまえ【 】

③ テレビの画面の画素が多いと、画像はどうなると言っていますか。